

久万高原町内全域での地域運営協議会（小さな拠点）設置に向けた 住民協働の仕組みづくり（愛媛県久万高原町）

取組概要

過疎化が進む本町において、住民主体の自治システムである地域運営協議会の必要性を全住民が理解し、全員参加のまちづくりを目指すための調査研究及び住民の参加意欲向上を図る取り組みを行った。

住民とともに作りあげていく姿勢を大前提とし、住民がわかりやすく地域運営協議会を理解できることを意識しながら、組織化を進めた。

人口 8,537人 (H30.1.1現在)

担当 総務課

取組の効果

旧面河村をモデル地区として先行して組織化を進めたが、当地区は町村合併後過疎化が特に進んだ地区であり、早急な取り組みが必要であったこと、また、本来石鎚山や面河溪など観光資源を有する地域であり、活動するための素地があったことが理由に挙げられる。他地域の住民に対し、町内の身近なこの地域での取り組みを紹介することで組織化を推進できると期待する。



地域課題や協議会の必要性を話し合う町職員

創意・工夫した点

協議会設立にあたり、「必要性を全住民が理解し、全員参加のまちづくりを目指す」ことを目的とするが、行政主導では、住民の主体性が生まれ難く、時間を要するが、住民自身が必要性に気づき、理解するという手法をとった。

他団体へのアドバイス

- 住民の自主性を最優先にすることで、継続性や住民参加を促す
- 先行事例を勉強する機会を持つため、意欲の向上を図るためにも地域間での交流の場を設ける



他地域のお茶によるまちづくりを視察